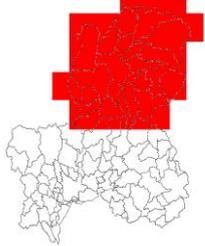


エゾスズラン	<i>Epipactis papillosa</i> Franch.et Sav. var. <i>papillosa</i>	情報不足
		ラン科
選定理由	園芸目的の採取圧がある。	写真(清水英彦) 
形態の特徴	高さは30-60cm。葉は数枚互生し茎に付く。淡緑の花が穂状に多数付く。唇弁は淡紅色で内部は暗紫色。花期は7-8月。	
生態的特徴	山地の樹林下に生える。	 <p>※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。</p>
分布状況	北海道、本州、九州、四国に分布する。岐阜県では飛騨地方に見られる。	
減少要因	園芸目的の採取による。	
保全対策	採取の禁止。	
特記事項	別名アオスズラン	
参考文献		

文責:山崎玲子